

創薬支援推進事業・創薬シーズ実用化支援基盤整備事業 事後評価結果

1. 基本情報

補助事業課題名	バイオ製造支援ユニット
補助事業実施期間	平成 29 年度～令和 3 年度（予定）
代表機関名	次世代バイオ医薬品製造技術研究組合
補助事業代表者 部署・役職・氏名	バイオ製造支援ユニット ユニット長 阪下 日登志

2. 評価結果

良い（総合的に計画した成果が得られた）

3. 評価コメント

バイオ医薬品の製造において世界的に使用されている CHO-K1 細胞の代替として用いることができる CHO-MK 細胞を樹立しており、当該細胞を軸として、バイオ医薬品製造の体制及び技術基盤の構築が着実に遂行された。また、本事業において、創薬ブラスター支援テーマの研究計画に必要となるサンプル（タンパク質）が問題なく提供されたことは評価できる。今後も本事業で整備した体制や技術基盤が、アカデミア創薬研究者の求める質及び量のサンプル提供に活用されること、並びに海外の技術も積極的に取り入れながら日本におけるバイオ医薬品の安定的かつ低コストでの供給に役立つ体制となることを期待したい。

以上